

1) 介護保険は必ず学習しておくべき！

---

【111 PM86】 地域包括支援センターの目的を定める法律はどれか。

1. 介護保険法
2. 健康増進法
3. 社会福祉法
4. 地域保健法
5. 老人福祉法

【110 AM67】 介護保険制度におけるケアマネジメントで適切なのはどれか。

1. 家族の介護能力はアセスメントに含めない。
2. 介護支援専門員が要介護状態区分を判定する。
3. 利用者が介護サービス計画を作成することはできない。
4. モニタリングの結果に基づき介護サービス計画の修正を行う。

【110 PM 68】 介護保険制度における地域密着型サービスはどれか。

1. 重度訪問介護
2. 地域活動支援事業
3. 小規模多機能型居宅介護
4. 特定施設入居者生活介護

【108 PM 51】 介護保険制度における地域密着型サービスはどれか。

1. 介護老人保健施設
2. 介護老人福祉施設
3. 通所リハビリテーション
4. 認知症対応型共同生活介護〈認知症高齢者グループホーム〉

【107 PM 62】 健康保険法による訪問看護サービスで正しいのはどれか。

1. サービス対象は 75 歳以上である。
2. 訪問看護師が訪問看護計画を立案する。
3. 要介護状態区分に応じて区分支給限度基準額が定められている。
4. 利用者の居宅までの訪問看護師の交通費は、診療報酬に含まれる。

→介護保険による訪問看護サービスと、健康保険による訪問看護サービスの違いを押さえる！

【107 AM 63】 要介護2と認定された高齢者の在宅療養支援において、支援に関与する者とその役割の組合せで適切なのはどれか。

1. 介護支援専門員 ————— 家事の援助
2. 市町村保健師 ————— 居宅サービス計画書の作成
3. 訪問看護師 ————— 日常生活動作〈ADL〉の向上のための訓練
4. 訪問介護員 ————— 運動機能の評価

【107 AM 62】 特別訪問看護指示書による訪問看護について正しいのはどれか。

1. 提供できる頻度は週に3回までである。
2. 提供できる期間は最大6か月である。
3. 対象に指定難病は含まない。
4. 医療保険が適用される。

【105 PM 63】 訪問看護サービスの提供の仕組みで正しいのはどれか。

1. 主治医の意見書が必要である。
2. 計画外の緊急訪問の費用は徴収できない。
3. サービスの導入の決定は訪問看護師が行う。
4. 主治医の特別指示書による訪問看護は医療保険サービスとして提供する。

【105 AM 62】 介護保険被保険者で介護保険による訪問看護が提供されるのはどれか。

1. 脳血管疾患
2. 末期の結腸癌
3. 脊髄小脳変性症
4. 進行性筋ジストロフィー

2) 「A さん」から始まる問題に強くなるう！

【111 AM 69】 A さん(73 歳、男性)は慢性閉塞性肺疾患で在宅酸素療法 (HOT) を受けている。受診時に A さんが「1 人でお風呂に入っているが、息切れが強い」と訴えたため、外来看護師は入浴時の具体的な状況を確認した。

外来看護師が A さんに確認した内容で、息切れの原因と考えられるのはどれか。

1. 入浴はシャワー浴にしている。
2. 椅子に座って更衣を行っている。
3. 洗髪時に鼻カニューレを外している。
4. 浴室の扉を開けたまま入浴している。

【111 PM 70】 A さん(85 歳、女性)は 1 人暮らし。うっ血性心不全で臥床して過ごすことが多い。訪問看護師が訪問すると、A さんは体温 37.6℃、口唇の乾燥はなく、体熱感はあるが手足が冷えると言って羽毛布団を肩まで掛けている。室温 30℃、湿度 65%、外気温は 32℃、冷房設備はあるが使っていない。

このときの訪問看護師の対応で適切なのはどれか。

1. 羽毛布団を取り除く。
2. 冷房設備で室温を調整する。
3. 頓用の解熱薬を服用してもらう。
4. 直ちに経口補水液を飲むよう促す。

【111 PM 72】 A さん(76 歳、女性)は 1 人暮らし。脳血管疾患で右半身麻痺があり、障害高齢者の日常生活自立度判定基準は B-2 である。週に 2 回の訪問看護を利用している。食事の準備と介助および食後の口腔ケアのため訪問介護を利用することになった。訪問介護の担当者は、A さんのケアについて訪問看護師に助言を求めた。

訪問看護師が訪問介護の担当者に助言する内容で正しいのはどれか。

1. 健側に頸部を回旋させ食事の介助をする。
2. 野菜は繊維に対し垂直に切って調理する。
3. 歯肉出血がみられたら口腔ケアは中止する。
4. 食事中は A さんの好きなテレビ番組を見せる。

【110 AM 65】 A さん (75 歳、男性) は、妻 (66 歳) と 2 人暮らし。3 か月前に認知症の診断を受けた。妻から訪問看護師に「夫は通所介護の時は穏やかに過ごしていると聞いているが、家では興奮することが多く、どう対応すればよいかわからない」とそうだんがあった。

このときの妻に対する訪問看護師の最初の対応で適切なのはどれか。

1. 主治医に相談するように勧める。
2. A さんと散歩に出かけることを勧める。
3. 通所介護の頻度を増やすことを提案する。
4. A さんが興奮する状況を妻と一緒に振り返る。

【109 AM 71】 A さん（88 歳、男性）は、長女（60 歳、無職）と 2 人暮らし。障害高齢者の日常生活自立度判定基準ランク C2。仙骨部の褥瘡の治療のため、膀胱留置カテーテルを挿入することになった。膀胱留置カテーテルを挿入中の A さんを介護する長女に対して、訪問看護師が指導する内容で適切なのはどれか。

1. 「褥瘡が治癒するまでおしりは洗浄しないでください」
2. 「体位変換ごとに蓄尿バッグを空にしてください」
3. 「カテーテルは太ももに固定してください」
4. 「尿に浮遊物がないか確認してください」

【109 PM 72】 A さん（78 歳、男性）は、妻（75 歳）と 2 人暮らし。脳梗塞の既往がある。妻から「最近、夫は食事をむせずに食べることができるが、口の中に食べ物が残っていることが多い。夫の食事について助言が欲しい」と訪問看護師に相談があった。

妻への訪問看護師の助言で適切なのはどれか

1. 「食事にとろみをつけましょう」
2. 「自助具を使って食事をしましょう」
3. 「口に入れる 1 回量を少なくしましょう」
4. 「食事前に舌の動きを促す運動をしましょう」

【109 AM 68】 A さ（82 歳、女性）は、要支援 2 である。

A さんの屋内での転倒予防と自立の促進のため、自宅で介護する家族への指導で適切なのはどれか。

1. 車椅子での移動とする。
2. 移動時にスリッパを使用する。
3. 手すりがない場所での歩行を避ける。
4. 移動の前に立ちくらの有無を確認する。

【106 PM 109～111】 Aちゃん（6歳、女児）は、重症の新生児仮死で出生した。誤嚥性肺炎で入院を繰り返しているため、今回の入院で経鼻経管栄養法を導入し、退院後は週1回の訪問看護を利用することになった。現在は四肢と体幹の著しい運動障害があり、姿勢保持が困難で、移動および移乗は全介助である。声かけに笑顔はみられるが、指示に応じることはできない。

〔問題 109〕 訪問看護師が行う母親への経管栄養法の指導で適切なのはどれか。

1. 注入する前に排便させる。
2. 注入中は側臥位を保つようにする。
3. カテーテルは毎日場所を変えて固定する。
4. 家族と同じ食事を流動食にして注入する。

〔問題 111〕 母親は「Aは来年の4月には小学校に入学する年齢だけど、入学に向けてどうすればよいのか分からない」と訪問看護師に相談した。

訪問看護師が行う援助として適切なのはどれか。

1. 自宅に教員を派遣できる小学校に連絡する。
2. Aちゃんが入学できる特別支援学校を紹介する。
3. 父親に仕事を調整してAちゃんの送迎をするよう勧める。
4. 教育委員会に小学校入学に関する相談をするよう勧める。

【106 AM 67】 A君（6歳、男児）は、父母と姉との4人で暮らしている。3歳時健康診査で運動機能の発達の遅延を指摘され、5歳のときにDuchenne〈デュシェンヌ〉型筋ジストロフィーの確定診断を受けた。現在は、床からの立ち上がり動作に介助が必要である。見守りが必要ではあるが、室内の歩行は自立している。在宅支援サービスは利用していない。A君の外来受診時に母親から「最近、Aの世話をしていると、8歳の姉が私にしがみついて離れないので困ります」と看護師に相談があった。

このときの看護師の対応で最も優先されるのはどれか。

1. 姉の小学校の養護教諭に家庭訪問を依頼する。
2. 姉にA君の歩行の見守りをさせるよう勧める。
3. 短期入所を利用して父母と姉とで旅行するよう勧める。
4. 居宅介護を利用して母が姉と関わる時間を確保することを提案する。

3) 状況設定問題では、具体的な支援の方策が問われる。

【111 AM91】Aさん(78歳、女性)は子どもがおらず、1人暮らしである。現在、大腸がん末期で入院中であるが、治療困難で予後は約半年と診断されたため、本人の希望にそって退院支援が進められた。脊椎転移による腰痛と下肢のしびれがあり、膀胱直腸障害があるため、おむつを使用している。食欲低下もあり、食事は好みのものを中心に摂取している。褥瘡はない。がん性疼痛はオキシコドン塩酸塩水和物を内服してコントロールしており、安静時痛はないが体動時痛がある。

担当する訪問看護師が退院前カンファレンスに参加することになった。訪問看護師の役割として最も適切なのはどれか。

1. ケアの方針は病棟看護師以外には知らせないでおく。
2. ケアの方針は介護支援専門員とだけ共有する。
3. 訪問介護スタッフと相談して、Aさんの今後の生活を定める。
4. Aさんの意思を重視して、今後の生活を考える。

【110 PM115-117】Aさん(37歳、男性)は妻(40歳、会社員)と2人暮らし。筋強直性ジストロフィーで週5回の訪問介護を利用していた。1か月前に傾眠傾向が著明となり入院して精査した結果、睡眠時無呼吸に対して夜間のみフェイスマスクを用いた非侵襲的陽圧換気療法が導入された。Aさんは四肢遠位筋に筋萎縮と筋力低下があるが、室内の移動は電動車椅子を操作して自力で行え、食事準備すれば妻と同じものを摂取できる。退院後、週1回午後に訪問看護が導入されることになった。

〔問題 115〕 訪問看護と訪問介護の担当者、Aさんと妻を含めた退院前カンファレンスが開催された。妻から「夜間に停電になったらどうすればよいですか」と発言があった。

このときの妻への訪問看護師の対応で適切なのはどれか。

1. 電動式でない車椅子を購入するよう勧める。
2. 訪問看護事業所が発電機を貸し出すと伝える。
3. バッグバルブマスクでの用手換気の指導を行う。
4. 停電時にハザードマップを確認するよう提案する。

〔問題 117〕 退院後1週、訪問看護師はAさんの鼻根部の皮膚に発赤があることに気付いた。訪問看護師の妻への対応で適切なのはどれか。

1. 「鼻マスクに変更しましょう」
2. 「発赤部位は洗わないようにしましょう」
3. 「人工呼吸器の装着時間は短くしましょう」
4. 「フェイスマスクのベルトは指が2本入る程度に固定しましょう」

【108 AM 72】 A さん（77 歳、男性）は、脳梗塞による左片麻痺があり、右膝の痛みにより立位が困難である。端座位で殿部をわずかに持ち上げることができる。妻（77 歳）は小柄で、体格差のある夫の移乗の介助に負担を感じている。

A さんのベッドから車椅子への移乗の際、妻の介護負担を軽減する福祉用具で適切なのはどれか。

1. 歩行器
2. ベッド柵
3. 電動介助リフト
4. トランスファーボード

【108 AM 58】 A さん（75 歳、女性）は、腰部脊柱管狭窄症と診断されており、要介護 1、障害高齢者の日常生活自立度判定基準 A-1 である。

A さんが介護保険による貸与を受けられる福祉用具はどれか。

1. 車椅子
2. 歩行器
3. 電動ベッド
4. 入浴用椅子

【106 PM 45】 A さん（80 歳、女性）は、要介護 2 となったため長男家族（長男 50 歳、長男の妻 45 歳、18 歳と 16 歳の孫）と同居することとなった。在宅介護はこの家族にとって初めての経験である。

A さんの家族が新たな生活に適応していくための対処方法で最も適切なのはどれか。

1. 活用できる在宅サービスをできる限り多く利用する。
2. 家族が持つニーズよりも A さんのニーズを優先する。
3. 介護の負担が特定の家族に集中しないように家族で話し合う。
4. 10 代の子どもを持つ家族の発達課題への取り組みを一時保留にする。

【106 AM 118】 A さん（89 歳、女性）は、認知症と診断されており、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準はランク IIb である。定年退職後の長男（66 歳、未婚）との 2 人暮らし。A さんは「役所の世話になるのは嫌だ」と言い、要介護認定を受けることを承諾していなかった。しかし、A さんが室内で転倒したことをきっかけに、要支援 1 の判定を受け介護予防訪問看護が導入された。

A さんは（中略）夕方になると、歩いて 5 分程度のスーパーマーケットへ買い物に行くことが長年の習慣となっている。最近、夜になっても帰宅せず、長男が探しに行くとスーパーマーケットから離れた公園のベンチに座っていることが数回あった。長男は訪問看護師に「母は私が後をついてきたと思い込んで怒るんです。このままでは心配です」と相談した。

看護師が長男へ助言する内容で最も適切なのはどれか。

1. 「先に公園で待っていてはどうですか」
2. 「ホームヘルパーの利用をお勧めします」
3. 「A さんに買い物はやめるよう話しませんか」
4. 「荷物を持つという理由で同行してはどうですか」